

ほんべつ 議会たより

No.103

2022年(令和4年)
11月15日発行



みんな笑顔でクッキング

10月1日 ほんべつ学 パウンドケーキ作り

発行／北海道本別町議会 編集／広報広聴常任委員会 北海道中川郡本別町北2丁目4番地1 TEL 0156-22-8123
FAX 0156-22-2147

議会のホームページでは定例会の会議録や活性化の取り組みなどを公表しています。

本別町議会

検索 

新議会スタート

初議会で議会構成が決まる

議長に篠原義彦議員 副議長に柏崎秀行議員

任期満了に伴い7月30日に行われた町議会議員選挙では、定員12人に対して15人が立候補し、現職9人、新人3人が当選しました。
改選後初となる臨時会（初議会）を8月10日に開き、議長、副議長を選出しました。また、常任委員や議会運営委員などを選出し、議会構成を決定しました。



副議長 柏崎 秀行
当2 50歳



議長 篠原 義彦
当3 74歳



藤田 直美
当3 56歳



方川 一郎
当7 73歳



丑若 浩行
当1 60歳



水谷 令子
当2 65歳

※年齢は8月10日現在

委員会の構成

総務常任委員会

- 委員長 水谷 令子
- 副委員長 高橋 利勝
- 委員 柏崎 秀行
- 方川 一郎
- 加藤 徹己
- 宮本 やよい

産業厚生常任委員会

- 委員長 石山 憲司
- 副委員長 梅村 智秀
- 委員 阿保 静夫
- 藤田 直美
- 丑若 浩行

広報広聴常任委員会

- 委員長 阿保 静夫
- 副委員長 丑若 浩行
- 委員 柏崎 秀行
- 加藤 徹己
- 宮本 やよい

7月30日の町議会議員選挙におきまして、12人の議員が当選の栄を受けまして、8月10日の臨時議会において、私が議長に就くことは、身に余る光栄であり、その責任の重大さを痛感しております。今後4年間、議長として立場で、公正・公平な議会運営を進めてまいります。

現在は、新型コロナウイルス感染症により、平時の活動ができない状況ではありますが、本別町議会基本条例を基本とし、町民の皆さんとの対話を通じ、よりよいまちづくりに12人の議員全員で取り組んでまいります。町理事者との対話を通じ、町民の皆さんの生活と福祉向上のため、議会としてチエック機能の役割を果たしてまいります。

町の基幹産業である農業を基本とし、あらゆる産業の発展と、町政発展のために、町民皆さんのご指導とご協力をお願い申し上げます。議員の皆さんとともに歩む決意を申し上げ、議長就任のあいさつとさせていただきます。

本別町議会
議長 篠原義彦



高橋 利勝
当9 73歳



阿保 静夫
当9 64歳



梅村 智秀
当2 46歳



石山 憲司
当2 73歳



宮本 やよい
当1 44歳



加藤 徹己
当1 69歳

議会運営委員会

- 委員長 藤田 直美
- 副委員長 阿保 静夫
- 委員 石山 憲司
- 委員 梅村 智秀
- 委員 水谷 令子

一部事務組合議会議員

十勝圏複合事務組合

- 議会議員 篠原 義彦
- 議会議員 柏崎 秀行

監査委員

方川 一郎

第3回臨時会
開催日8月10日

一般会計補正

農業振興基金

本別町農業協同組合からの指定寄付金を農業振興基金へ積み立てます。

問 基金として積み立てた後の具体的な使途は。

答 町と農協で都度打ち合わせをし、新規就農対策事業、有害鳥獣の一斉駆除の経費や台風被害等による鹿柵の補修などに活用させていただきます。

ス スポットビジョンスクリーナー

問 機器の有用性と対象年齢は。

答 この機器によって、屈折異常（近視、遠視、乱視）などの検査が6

か月以降の乳幼児にできます。



現在3歳児健診で視力検査を行っています。視力異常が疑われる場合は、乳幼児健診等での活用も可能と考えます。



第3回
定例会

中学生全道大会出場補助などの
補正予算等を可決

令和4年第3回定例会は9月6日に開会し、各会計補正予算などを審議しました。審議された内容は次のとおりです。

一般会計補正

中体連・中文連参加出場費補助

問 昨年まで中体連・中文連の主催大会は全道大会8割、全国大会10割の補助だったが、現在の補助率は。

答 今年度から要綱を改正し、予選会などにより参加資格を得た全道大会は10割補助としました。



いつもベストで全道へ

施設等給食負担軽減事業

問 事業の詳細は。

答 光熱費、食材料費が物価高騰で、高齢者施設、障がい者施設にも大きな影響を及ぼしています。給食の内容を落としたり、利用者負担が増えないよう、また、経営維持の観点で、利用者定員、食事提供数に応じて給付金を支給します。

クラスター発生施設等事業継続支援事業

問 民間の介護サービス事業所で新型コロナウイルスによりクラスターが発生したことにより、介護報酬が減収となった事業者に対し、その減収見合い分を補助します。

答 対象施設数など内容の詳細を。

答 2事業所の3業種が、保健所から通所サービスを中心に事業停止を求められました。今後の事業継続にも支障をきたすため、それぞれの休業日数に応じ、減収分を補助します。

介護サービス基盤分析等業務委託

問 今後のスケジュールは。

答 来年の9月くらいを目途に分析をし、それを基に老人ホームの部屋の在り方や必要数などを割り出していきたいと考えています。

国保病院経営強化プラン作成業務委託

持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドラインが国から示され、それに基づき公立病院のある市町村においては経営計画を作成する必要が生じました。

問

委託先の想定は。

答

コンサルタント業者から選定します。町として直営堅持という部分がありますが、調査分析によってそれがどこまで可能なのか、あるいは困難なのかを明らかにしていきたいと考えています。

一般会計補正予算に対して、反対者の討論 梅村議員

これまでも病院の改革プランが策定されたが結果がついてきていない。いくら良いプランを策定しても、

それを真摯に取り組み、体制構築がなければ形骸化することが容易に想定される。

賛成者の討論

柏崎議員、阿保議員

今回の補正予算で物価高騰に対する弱者への対応を速やかに行わなければならない。病院運営が厳しいが、町民の命と健康を守る使命を果たし、町民の病院として守ることは重要。

採決の結果

賛成者 8人
反対者 3人



**次の定例会は
12月6日 開会
13日 一般質問を
予定しています**

議会中継を 始めました

10月26日開会の臨時会から議会のライブ配信（生中継）と録画配信を始めました。動画はYouTube（ユーチューブ）上で配信しており、議会のホームページからパソコンやスマートフォンで視聴することが可能です。

なお、映像の中に、傍聴席も映し出されることがありますので、ご了承ください。

本別町議会 議会中継

検索



いつでも どこでも 議会傍聴

令和4年度各会計補正予算

会計	(補正額) 補正後の額	主な内容
一般会計	(2億5,300万2千円) 74億9,725万7千円	農業費補助金、各種スポーツ大会参加補助金などによる増 (臨時会) ふるさと納税関連経費、新型コロナウイルス対応各種施策及び大雨災害復旧経費などの増 (定例会)
特別会計	(1,394万1千円) 10億4,352万2千円	決算に伴う前年度からの繰越金、基金積立の増 (定例会)
	(63万6千円) 1億4,221万9千円	決算に伴う繰越金の精算による増 (定例会)
	(3,164万5千円) 10億7,978万7千円	決算に伴う精算による増 (定例会)
	(93万6千円) 3億5,268万2千円	新型コロナウイルス感染者発生に伴う感染対策による増 (定例会)
	(52万4千円) 1億2,386万7千円	配水管等施設の修繕料の増 (定例会)
病院事業会計	(1,448万9千円) 13億1,572万7千円	公立病院経営強化プラン策定に係る経費及び医療人材確保に要する経費の増 (定例会)

※第3回臨時会（8月10日開催）含む

一般質問

7人の議員から11問

暮らし

老人ホームでも看取りを行うべきでは

答 関係機関とも論議を進め最終判断をしまいたい



宮本やよい議員

宮本議員 看取り希望者が増えていますが、受入施設がないため高齢者が町外へ転居してしまっているのが現状です。福祉でまちづくり宣言の名に恥じめよう、安心してこの



安心して日々を過ごせるように

町で最期を迎えられる町の施設として、本別町特別養護老人ホームでも看取りを行うべきでは。

佐々木町長 看取りのニーズは高まっていると認識しています。しかし、すぐに実施できる体制ではありません。

特別養護老人ホームの建設に関するワーキンググループも立ち上げ、その中で論議・協議をさせていただきながら、最終的に、どのような形で町が進めるのか、関係機関や住民の皆さまのご意見を聞く中で、判断してまいりたいと考えます。

前佛老人ホーム所長 今年度組織目標に看取りを掲げています。コロナの状況・時期を見て、速やかに検討を進めていきたいと考えます。

勇足地区定住促進・勇愛団地の環境整備を

答 木は伐採する方向で調整を図っております



梅村智秀議員

梅村議員 団地住民にはシラカバの木による影響が大きな悩みとなっている方が多く、落ち葉や飛散する種子、虫などにより自宅敷地や自家用車、道路の清掃に追われ穏やかな生活が送れていないため、速やかに木を切る対応が必要で

す。行政による道路や排水溝清掃等の費用と負担軽減にもなるため、それらを勇愛団地公営住宅周辺の草刈りに充てることで入居者にとっても優しい対応となります。

さらに、大雨時の水たまりなど道路排水等の調査も必要です。こうしたことは素早い対応が必要です。



見た目はよいが生活環境が…

佐々木町長 状況については担当が5月から調査し、洗濯物干しや清掃に苦慮されていることを把握したので、シラカバの木は伐採する方向で調整を図っております。大雨時の雨水滞留は、雨水の流れや雨水桝の位置などを検証します。住民の方とはしっかりと対話をしていきながら対応は進めていきます。

物価高の影響を受ける方を対象とした対策を

答 町民生活の安定を基本とし対策を検討します



柏崎秀行議員

柏崎議員 地方創生臨時交付金を活用した物価高対応について、本町においても今後見込まれる物価高についてどのように対応するのか伺います。

①地方創生臨時交付金はどのようなプロセスを経て決定しているのか伺います。

②令和4年度の地方創生臨時交付金比率について伺います。

③さらなる物価高が見込まれますが、新たな検討の枠組みを作り、影響を受けるあらゆる方々を対象とした対策を講ずるべきと考えますが見解を伺います。

佐々木町長 ①課長等会議における交付金制度の周知と各部局、課ごとに交付金活

業の提案を受け、事業の予算化を進めております。

②感染対策に22%、事業者支援に15%、事業者支援、生活者支援双方に関するものが35%、生活者支援が28%です。

③地域における関係機関、団体、町民の皆さまからのご意見を拾い上げながら、町民生活の安定を守っていくことを基本とし、必要な対策を検討してまいります。

さらなる物価高対策を

答 町民生活の安定を基軸として進めていきます



高橋利勝議員

高橋議員 資材、原材料費や燃料費の高騰による物価高が続ぎ、各市町村では様々な対策が取り組まれようとしています。

①その中でも水道料金の減免を取り組む町村があります。本町としてどのように考えているか伺います。また、さらなる物価高対策を検討するべきと思いますが考えを伺います。

②ウクライナ侵攻、円安などによって肥料等の高騰が続ぎ農業に影響が出ていますが、本町としてどのように受け止めていますか。

また、町と農協が協議をし、その対策を進めていくということですが、その決意を伺います。

佐々木町長 ①水道料金の減免については、本町特有の事情もあり厳しいと思っております。今後の対策は町民生活の安定を基軸として進めていきます。

②町内の農業者への影響につきましても、非常に厳しい状況にあると認識しております。肥料高騰対策については、支援策を農協と協議してまいります。



止まらない物価高騰、対策は



町民の皆さんの負担軽減を



農 業

本町の農政の取り組みは

答 農業振興で地域経済の活力を図ります



丑若浩行議員

丑若議員 ①町長選挙の演説で園芸農業の推進にふれていました。大胆な補助事業なしには実現不可能と考えますが、町長の見解を伺います。

のさらなる連携について伺います。

佐々木町長 ①本町の基幹産業である農業を第一の政策に挙げ、先進技術等の導入も図り、農業を振興させることによつて、その効果を町全体に波及させて、地域経済の活力を図ります。

②スマート農業につきましては、補助事業等により各種導入が進んでおりますが、農業者のニーズを十分把握した上で、支援事業を活用し進めます。また、ドローンの免許取得支援も検討します。

③特に豆に関する商品開発は大事なことであり、農協と連携をしながら、町としてできる限りの支援を図りたいと考えます。

肥料、飼料高騰で可能な支援策を

答 国、道の支援策が明確になってから農協と協議します



阿保静夫議員

阿保議員 国は化学肥料2割削減を条件に7割補填の方針ですが、農家は苦悩するものと考えます。乳価は約2円増の方向ですが、期待外れとの声が上がっているとのこと。町として補助金支給のほか営農用水料金の減免、固定資産税の減免など、農家支援策について見解を伺います。

佐々木町長 国の肥料高騰対策7割補填、道の化学肥料トシ当り3,125円補填など示されています。それらの国、道の支援策の詳細が明確になってから町としての支援策を農協と協議していきたいと考えます。

営農用水料金、固定資産税等の減免は、なじまないと思いますが、今後検討させていただきます。

阿保議員 情勢を受け止め、土づくりを再度見直していくことについて伺います。

佐々木町長 営農指導対策協議会で、今後の対応策を考えたいと思います。



先進技術で人手不足解消を

②町長の公約ではスマート農業推進とありますが、多岐にわたる分野があります。現在の進捗状況と取り組みについて伺います。

③農産物の商品開発について、農協と



価格が高騰している肥料

行政DX（自治体DX）とは…

デジタル技術の活用により、住民の利便性を向上させるとともに、業務の効率化による、行政サービスのさらなる向上に繋げる取り組みです。マイナンバーカードの普及促進や行政手続きのオンライン化などが進められています。

ものしり博士から



行政

行政のDX推進の取り組みが必要では
答 行政サービスのほか各分野における推進を検討します



藤田直美議員

藤田議員 デジタル化の推進は、住民サービスの向上や業務の効率化、職員の創造性向上といった観点で早期に進めるべきです。新型コロナウイルス感染症拡大により、さらに行政手続きの簡素化が求められています。

① **行政DX** は暮らしや産業DXにつながっていく大きな役割がありますが、考えは、② 町民も含めたDXへの関心、理解を深める取り組みが必要では。③ 専門部局の設置や優秀な人材を外部から登用するなど人材確保が必要では。



デジタル化推進でサービス向上

佐々木町長 ① 光ケーブルによりインターネット環境を整備し、ほぼ全世帯をカバーしています。今後は住民サービスや健康、医療、教育など各分野でデジタル化の推進も検討します。② スマートフォンの使い方の勉強会など必要なニーズがあれば検討します。③ 庁内において将来を見据えた組織改革を進めています。外部からの人材登用も議論が必要と考えます。

体力増進センターにフリーWiFiを

答 優先度、緊急度も踏まえ施設全体で検討していきます

梅村議員 体力増進センターは世代を問わず利用できる施設で、学生を含め利用者が増加傾向にあり、さらなる利便性の向上が必要です。ランニングマシンなどを利用する際に音楽を聴きリラックスをしたり、健康管理アプリ等を活用するためにはフリーWiFiの整備が必要で

ます。スマートフォンなどで音楽を聴きながら運動されている方がおり、集中力を高めるためなど利用理由があると思います。施設の利用頻度や利用者のニーズなどから優先度や緊急度を踏まえ施設全体で検討してまいります。

物価高の現況、若者や学生、その保護者の負担軽減、これから迎える冬期間の運動不足解消等のために早期に備えていく必要があります。対応が早いことは行政の評価にもつながります。

高橋教育長 体力増進センターは健康志向の高まりを受け利用者の声を伺いながら利用環境の整備に努めてまいりました。



より快適な環境整備を（体力増進センター）

パークゴルフの振興と競技場の整備を

答 パークゴルフ協会の皆さまと連携し進めていきます

高橋議員 ①これまでパークゴルフ場は、町民の健康増進、また交流の場として町内に5か所整備されてきました。しかし、コロナ禍の影響もあり、太陽の丘を除いてほとんど使われていません。改めて町民の健康増進、交流の場として積極的にパークゴルフの振興に努めるべきと思いますが、考え方を伺います。

②太陽の丘パークゴルフ場は今でも町内外から来場し使われています。

しかし、コースに起伏のある「さくらコース・しらかばコース」は芝が荒れていることから整備を望む声がありますが、考え方を伺います。

高橋教育長 ①今後もパークゴルフ協会の皆さまと連携し、これまで同様、町民の交流の場として利用促進を図っていきます。



管理が重要なパークゴルフ場

②パークゴルフ場の芝の管理については、委託業者と建設水道課で行っていますが、「さくらコース・しらかばコース」では芝の一部に状態が良くないところがありますので引き続き対応していきます。

課題が多い大雨被害対応は

答 緊急時における住民への丁寧な説明に心がけます

梅村議員 大雨により町道などに多くの被害が確認され復旧が急がれます。庁内における情報共有が不十分であり、適切な指示や対策が施されていないとは認める事ができません。

①近隣住民を含め情報共有や発信が不十分で現況や復旧の見通しが分からず困惑を招いたため、より丁寧な情報発信に努める必要があります。

池田押帯間道路の被害状況を町長が把握したのはいつですか。

②ライン（LINE）のようなアプリを活用し、被災箇所、地域の課題や不具合等を写真や位置情報とともに役場へ報告、情報共有できる体制構築が必要です。

佐々木町長 ①近隣住民の方々へ連絡などが遅くなり困惑させてしまった部分もありました。今後も緊急時における住民への丁寧な説明に心がけます。

す。

原課の取りまとめ作業が遅くなったことにより、報告を受けるまで時間がかかりました。

②アプリの活用をし、災害に関する情報共有をしている市町村があれば参考にさせてもらい体制構築の検討も含め判断します。



災害に強いまちづくりを目指す

オフイ西4線道路の舗装整備は急務

答 今年度の被害は排水整備により大部分は解消できます

梅村議員 オフイ西4線道路は、7月27日および8月15日から16日にかけての大雨いずれにおいても通行止め措置となる被害を受けた。例年においても同様の損壊を繰り返しており舗装整備が急がれます。

①被害の多発する箇所を優先することも検討し工事計画（町道負笹西4線道路整備計画）を見直す必要があります。
②近隣住民のみならず道路に隣接する農地利用者もいるので改めて住民と協議を行い、その他の事業の併用も検討し予算確保を行い早期舗装化する必要があります。



大雨で通行不能となった町道

佐々木町長 ①今年度の被害は高台からの大量の雨水と土砂流れが原因で、排水を整備すれば解消されます。
②現在実施区間は自治会と協議の上で着手しており、ご理解いただきたいと思います。
現在の計画の一定区間が終わるのはおよそ9年後です。改めて地域の声を頂いた中で随時考えます。

意見書

第3回定例会では意見書が3件提出され、原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、衆参議院議長、内閣総理大臣など関係機関へ送付しました。

【要旨掲載】

(15ページにも掲載)

国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

社会資本整備を取り巻く環境は、激甚化、頻発化する自然災害や日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震等のリスク増大のほか、公共施設の老朽化など様々な課題を抱えている。

地方財政は依然として厳しい状況にあることから、防災・減災、国土強靱化に必要な予算を安定的かつ継続的に確保するよう強く要望する。

提出者

藤田 直美



地方財政の充実・強化に関する意見書

現在、地方公共団体には、より新しく、かつ極めて多岐にわたる役割が求められています。また新型コロナウイルス、近年多発している大規模災害への対応も迫られています。

2023年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、コロナ禍への対応を勘案しながら、地方財政の確立を目指すよう求めます。

提出者 高橋 利勝

討論

反対者：梅村議員
趣旨にはおおむね同意できるが、質疑に対して明確な答弁が得られなかった。しっかりと熟慮と推敲をして再提案を。

賛成者：阿保議員

表現が違ふところがあったが、それぞれの項目の特質な部分で違ふと解釈した。趣旨及び内容に賛同する。

採決の結果

賛成8人
反対3人



意見書

令和3年度

9月28日・29日・30日開催

決算審査 特別委員会

審議時間11時間29分

138の質疑



水谷令子委員長

一般会計総支出額 78億3,467万8千円

9会計総支出額 125億4,460万3千円

一般会計

いきいき商品券

プレミアム率30%、1セット1万円を6月と9月に各5,000セット販売。商品券の内訳は、町内のお店で使用できる紙の商品券が8,000円分、ポイントカード協同組合加盟店（飲食店等）で使用できるプリペイドカード5,000円分です。

問 事業を行ったことによる経済効果は。

答 令和3年度は2回実施により、1億3千万円分の商品券が使用されました。商品券の使用割合がコロナ禍以前（令和元年度）は大型店が約60%、一般小売店が約40%に対し、令和3年度は大型店が約43%、一般小売店が約57%となっており、一般小売店の利用が伸びています。

起業家支援

問 認定件数は。

答 起業家支援で菓子製造の小売業1件、新商品開発で飲食業1件です。

本別コミセン（道の駅）自動ドア

問 自動ドアを設置したことによる効果は。

答 出入り口11か所全てが非接触型の自動ドアになり、衛生環境等が向上し、利用者が安心して来場いただける環境が整ったと考えます。

グリーンサポートセンター

問 実施内容は。

答 カップリングパーティーをオンラインで開催し、町内農業者男性2人、町外女性3人の参加がありました。また、イベント会社主催の婚活イベントの参加費を延べ3人に対し助成し、結婚祝い金を1組に贈呈しています。

森林環境譲与税

譲与税分を森林環境譲与税基金へ積み立て、基金から事業へ充てています。

問 具体的な使途は。

答 町民植樹祭、森林整備促進事業研究対策費、民有林造林促進事業、私有林等整備事業等に活用しています。



触れずに開く自動ドア

新規就農支援事業

問 補助実績は。

答 本町で就農を目的に農業実習をする方に対する補助が3人、家賃補助が2人、農業実習の指導者に対する補助が2人です。

有害鳥獣駆除

問 有害鳥獣を駆除した種類と頭数は。

答 シカ473頭、クマ1頭、ハト42羽、カラス379羽、キツネ62頭、タヌキ56頭、アライグマ1頭です。

町道補修

問 実績は。

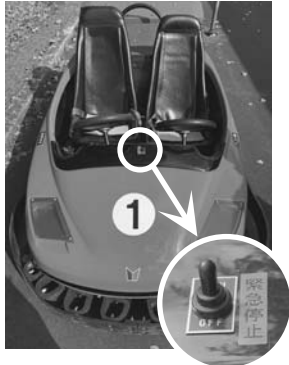
答 町民からの問い合わせ158件および町のパトロールによる発見35

件、計193件のうち、令和3年度の補修済みは154件です。残りの39件については4年度以降の補修、または経過観察となります。

交通公園ゴーカート

問 ゴーカートの使用に
関して、安全管理は
どのように行っていたか。

答 ゴーカートの車外からブレーキがかけられるように安全装置を整備しました。また、緊急対応マニュアル等を作成し、受託者と情報共有を行いながら運営をしています。



空き家除却

著しく管理不良な状態にある老朽空家住宅で、倒壊

および周囲の環境に害を及ぼす恐れがある住宅の除却に係る経費を助成します。

問 補助件数は。

答 7件です。

税の納付について

問 税の納付がされない方への対応、業務の流れは。

答 納付期限が到来してから20日以内に督促状を發布します。その後、納めていない場合は催告書を発行し、それでも納めない場合は電話かけや臨戸訪問、納税相談等を行いながら納めていただくよう業務を行っています。

滞納整理機構

問 徴収実績は。

答 滞納整理機構へ5,846,273円を引継いだうち、4,683,073円を収納し、収納率は80・10%です。

浴場移転

問 老人福祉センターから旧養護老人ホームへ浴場を移転したことによる効果は。また、お風呂がない等の事情がある場合についての対応は。

答 男性、女性ともに利用者数が伸びています。60歳未満の方やお風呂がない等の事情がある方も、入館の際に管理人へ申し出ていただければ利用できます。



ほんべつ元気の湯（旧養護老人ホーム）

職員の時間外勤務

問 最長の時間外勤務の
時間数は。

答 1,000時間を超える職員がいました。

通常業務のほかには町長選挙、衆議院議員選挙に伴う選挙事務を執り行っていたためです。

総括質疑

問 町長就任後、施政方針等で挙げられた事項について、令和3年度において成し得たことは。

答 コロナ禍で売上が減少する町内中小事業者への国の交付金を活用しながら独自の支援を行ったこと、本別高校の存続・進学サポートの強化として、タブレット端末100台を購入するなど、本別高校を考える会が実施する事業に対して財政支援を行うほか、ハイヤー利用券助成等の継続事業を引き続き行ってきました。

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者保険料

問 収入未済の件数は。

答 19件、実人数10人です。

介護サービス事業特別会計

老人ホーム入所

問 令和3年度における待機者数は。また、入所が困難な場合とは。



常に待機者がいる老人ホーム

答 令和4年3月末現在43人で、多い時は100人を超えることもあり

ました。入所が困難なケースとしては、常時たんの吸引や24時間点滴などが必要な方となります。

病院事業会計

病院運営、経営

問 病院の運営、経営について、どうすれば

計画通りになるのか。
答 まずは医師を確保し、医療スタッフや事務など必要な人材を確保して運営することが大前提にあると考えます。

そのためには必要な費用は投じますし、改善すべきところは改善し、経営にあたっていかなければならないと考えます。

一般会計

梅村委員

町民の期待に応える具體的成果、展望を抱けた事業年度とは評価できず、違法行為も散見された。病院事業会計への多額な繰入金も例年続き、到底認められない。

後期高齢者医療特別会計

阿保委員

保険料の収入未済額が相当額あり、後期高齢者の生活状況が厳しくなっていることが想定される。広域連合や国に保険料の減額と、それを補う施策を要望していくべき。

介護サービス事業特別会計

梅村委員

勤務体制上難しいなどと、結局利用者一人一人のニーズに応えたサービスが提供されているとは認められず、課題がまだまだ多く見受けられる。

病院事業会計

梅村委員

改革プランの形骸化、安易な繰入が繰り返され、誰のための直営堅持なのか甚だ理解できず、町民のための病院として、可及的速やかに運営主体を変え、病院改革が必要。

討論

賛成



反対

高橋委員・阿保委員・柏崎委員
町政の果たす役割は大きく、「コナ対策を巡りながら、町民の生活・経済を守るため、関係機関と協議を重ね、迅速な対応と適切な予算執行がされていた。

梅村委員
高齢者の負担分は生活環境や所得に応じて軽減や減免が認められる極めて合理的な公的保険制度である。運営主体は広域連合であり、決算内容および事務実務に何ら問題はない。

阿保委員・柏崎委員
家族にとつて十分満たされない思いもあったと思うが、「コナ禍で現場ではいろいろな苦労をしながら運営をされており、適正に予算執行されていた。

藤田委員
救急医療をはじめ、専門医療や予防医療、病床を抱える中核病院として、病院を存続させるための経費であり、町民の命と健康を守るための運営が実施されたと判断する。

賛成者6人
反対者3人



賛成者8人
反対者1人



賛成者6人
反対者3人



賛成者6人
反対者3人



写真で見る議員活動

本別公園の清掃活動を行いました

10/11



議員会では、ボランティア活動の一環として、老人クラブ連合会の皆さんと一緒に本別公園の落ち葉拾いを行いました。

議会用語の解説

《質疑と質問》

質疑とは、議題になつてくる事件について、賛否または修正等の態度決定が可能となるよう不明確な点について、提出者等の説明や意見をたぐすためのものです。質疑に当たっては、自己の意見を述べ

ることができないとされています。また、質問は、議員が町の財政全般にわたって、疑問点をたぐし、所信の表明を求めるものです。そのうち一般質問は、町民の皆さんから重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動の場と言われており、年4回の定例会において通告制により実施されます。

肥料、飼料の高騰対策を求める意見書

ロシアのウクライナ侵攻等により肥料、飼料などの価格が上昇しています。政府は化学肥料の2割削減を条件に、7割補填の方針ですが大幅値上げには変わりありません。よって国においては、肥料、飼料価格高騰対策について、さらなる農家支援の強化を図ることを求めます。

提出者
阿保 静夫



行政報告

第3回臨時会（8月10日開催）および第3回定例会（9月6日開催）において、町長から行政報告がありました。（抜粋）

行政報告

議会日誌

〔8月〕

- 1日 一部事務組合議会（帯広市）
- 3日 議員懇談会
- 4日 新任議員研修
- 5日 新任議員研修
- 10日 第3回臨時会、議員会総会、本別町林活議連臨時総会



- 28日 各会計決算審査特別委員会
- 29日 各会計決算審査特別委員会
- 30日 各会計決算審査特別委員会

〔10月〕

- 6日 広報広聴常任委員会
- 11日 議員会ボランティア活動
- 20日 広報広聴常任委員会
- 26日 第4回臨時会、産業厚生常任委員会所管事務調査、議長との対話室
- 28日 広報広聴常任委員会



〔9月〕

- 1日 議員協議会
- 2日 議会運営委員会
- 6日 定例会開会、総務常任委員会、産業厚生常任委員会
- 8日 議会運営委員会
- 14日 本会議（一般質問）
- 15日 本会議（議案審議・決算提案）
- 16日 本会議（決算提案）、広報広聴常任委員会



〔11月〕

- 9日 総務常任委員会所管事務調査、第66回町村議会議長全国大会（東京都）
- 11日 議会運営委員会、議員協議会



常勤医師の採用について 町国保病院では、9月1日付けで医師を採用することとなりました。

新任医師の氏名は、松井智文（まつい ともふみ）医師で、年齢は44歳、名古屋大学医学部出身で、これまで主に静岡県内の医療機関で内科診療に携わっており、総合内科専門医、消化器内視鏡専門医の資格を取得しております。本町

では内科外来を中心とした診療を担っていただきます。

北洋銀行本別支店役場派出所の廃止について

役場内の銀行派出所は、9月30日で廃止し、10月以降は町職員がその業務を引き継ぎ、町発行の税や各種料金等のお支払いは出納室でお受けいたします。町民の皆さまへの影響はないものと考えております。



高橋哲夫さん（北5丁目）

スピード感を持って 課題解決を

今回は9月定例会に傍聴にお越しいただいた、北5丁目にお住まいの高橋哲夫さんにお話しを伺いました。

現在はフルートや書道などを指導

高橋さんは平成25年まで道立高校の音楽教員として本別高校や足寄高校などに勤務され、退職後は自宅で教室を開きフルートやオカ

リナ、さらには書道を教えられています。

また、民生委員や健康長寿のまちづくり会議の会長として活躍されています。

女性活躍推進のための対応を

議会の傍聴は今回が2回目とのことで、傍聴の感想を伺った「町民の皆さんの議会に対する関心の高さを

感じた。初めて傍聴に来られた若い人が、『面白い』と。これからの本別町を担う若い人達が増えていくと良いですね」との感想をいただきました。

また、「議会の冒頭、議長からマスク着用の協力要請があり、その際傍聴者は全員着用していたが、未着用の議員がいた。様々な理由によりマスクを着用できない場合は考慮されるべきと思うが、議長から傍聴者に対して未着用の理由の説明などがあれば良かった」「議場がある3階では女性用トイレが1人しか利用できず、休憩中並んでいるのを見て、女性の傍聴者や議員、女性活躍を推進する意味においても、増設するなど早急な対応が必要では」とのご意見もいただきました。

議員の発言を活かして

会議の内容では、発言内容で議長から複数の議員に注意があったが、やや形式

にこだわり過ぎていたり感じたところで、「発言の方法を変えるように促すなど、貴重な議員の発言を活かすような柔軟さがあったも良いのでは」と述べられました。

スピード感を持って

「質問する議員は大変勉強しており、町民の命にかかわる緊急性のあるものや、優先順位の高いものからスピード感を持って課題解決に尽力いただきたい」とも話されました。

英検準1級を目指す

最後に今熱中していることを伺うと、英検準1級を目指しているそうです。また、趣味はカラオケで歌うことが大好きと笑顔で語られました。

今回のインタビューを通じて、とても魅力的な人だと実感しました。

今後とも議会に対してご意見等よろしく願います。

編集後記

広報委員会のメンバー交代後、最初の議会日より、103号の発行となりました。委員会の構成は、新人の方が3人、経験者が2人と、委員会に多様な意見が反映されることを期待しているところです。

議会の活動を町民の皆さまに、コンパクトにわかりやすく伝えることが議会だよりの基本的な役割だと考えます。さらにこの議会だよりが「まちづくり」について町民の皆さまと一緒に考え、取り組むようなきっかけになればと思っています。

町民の皆さまに議会だよりを楽しく読んでもらえるように私たち広報委員も楽しみながら議会だよりの編集を進めたいと考えています。

ぜひ、皆さまの率直なご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。ご挨拶とします。

- 委員長 阿保 静夫
- 副委員長 丑若 浩行
- 委員 柏崎 秀行
- 加藤 徹己
- 宮本 やよい